

平成27年度 第1回鳥取市景観形成審議会 議事録

1 日 時 平成27年12月22日(火) 15:00～16:40

2 場 所 鳥取市役所本庁舎4階 第2会議室

3 出席者

(1) 委員

芦澤喜武委員(会長)、中橋文夫委員(副会長)、西村強委員、池本義隆委員、
松島勇委員、山本美穂委員、成清仁士委員、村山洋一委員、谷口貴洋委員

(2) 事務局

鳥取市都市整備部 藤井光洋部長
都市環境課 谷口浩章課長、谷岡和幸課長補佐兼管理係長、
田中和人景観緑化係長、廣谷一茂技師、浅井崇典主事
道路課 西垣真志主幹
文化財課 細田隆博主任
観光戦略課 植田光一課長補佐

4 議 事

(1) 会長・副会長の選出について

(2) 市道山の手通り(お堀端通り)整備事業について

5 議事概要

(1) 会長・副会長の選出について

※互選により会長を芦澤委員、副会長を中橋委員に決定

(2) 市道山の手通り(お堀端通り)整備事業について

〈事務局〉

※資料1、資料2、図面を用いて説明

(芦澤会長)

昨年からいろいろ検討してまいりまして、だいたい皆さんの意見を組み込んでいただき、計画もだいたい出来てきたようですが、まだ問題はたくさんあると思います。

全般にわたって、どこでも結構です。何かご意見はありませんか？

(成清委員)

ビューポイントを①、②、③と設定されていますが、この考え方を教えていただけませんか？

〈事務局〉

久松山、仁風閣、水面含めたお堀、石垣を含めて景観について、市道山の手通り、お堀端通りから見た絶好のポイントを探しました。その結果、この3ヶ所が良いのではないかとこの事で設定している所です。

(芦澤会長)

要するに、鳥取城跡周辺の景観の美しさっていうのは仁風閣と石垣、それらが見える所でしょ？簡単に言えば、そういう所を探したという事でしょう。

(成清委員)

ありがとうございます。城郭が残っていた頃の写真とかがいくらか残っているかと思うのですが、もしビューポイントの付近で、そういった資料があれば、当時と現在の様子を見比べられるようにしてはどうでしょうか。県立博物館で古地図ぶらりという物が開発されており、今度、古写真が掲載されると聞いていますし、他にも現在の写真と古地図を簡単に比べられるアプリが今後開発の見込みという事も聞いています。姫路城では、その場でAR（拡張現実）で見比べれるポイントがあるので、もし鳥取城跡周辺でもそういう事が出来れば良いのではないかと思います。

〈事務局〉

研究してみます。

（芦澤会長）

それは大変良い事だと思います。もう一つ、今設定しているビューポイントからの景観について、今は冬だから良いが、樹が茂ってきた場合に石垣等が見えなくなる所がいっぱいある。これは撤去した方が良いとか、透かした方が良い等、景観の支障になる樹木を整理しないといけません。

（成清委員）

さきほどの追加になりますが、博物館に所蔵されている郷土の画家の方の作品で久松山を描かれているのがいくらかあるかと思います。もし、良い物があれば、その視点場等で見比べられると思います。

（中橋副会長）

ちょっと良いですか？

（芦澤会長）

はい。

（中橋副会長）

今のご質問は本当に大切な事だと思います。一般的に景観を、景観工学的に捉えた場合、近景観・中景観・遠景観に分類されます。これは景観の構造について書かれた樋口忠彦という先生の本によると、人間がどのくらいの距離でどういう仰角で空間が見えるかという視点場と視点対象物の関係の事であり、本来はその考え方に基づいた設計論法が必要ですが、この計画には空間論の説明が書かれていません。

ここは風致地区ですか？

〈事務局〉

風致地区ではないです。

（中橋副会長）

しかし、鳥取の風土景観の非常に良い所ですよ。鳥取城の由緒ある歴史的景観の保全と活用、そしてランドスケープデザインとしては、一所懸命描かれているので、そのデザインの考え方について、ここがなぜ視点場になったか、この距離は何mでこういう快適な景観を付与するといった事を、始めの方にでも書いた方が良いと思います。

（芦澤会長）

貴重な意見でございますので、その辺を十分に、これから検討してください。

〈事務局〉

はい。

(芦澤会長)

それともう一つ、これは近辺で見っていますが、実際街の中にどこか良く見える場所があるかもしれません。例えば、県庁の上から見たら、良い所があるかもしれません。城の中に、主体の中に自分が入るのではなく、外から全体を眺めて、非常に良いという、例えば竹田城の場合、対面する山の高い所に公園があり、そこからの景観がものすごく良いです。鳥取城跡でも、どこかあるかもしれないので、そういう所も売り出せば、これ非常に面白いなあと思います。そういう事もちょっと考えてみていただければ、ありがたいと思います。

その他、ありますか？

(村山委員)

先般、岡山、姫路の自治連の役員、14、5名が仁風閣を訪問しました。仁風閣は、後の大正天皇が皇太子時代に泊られたり、鳥取県で一番初めに電燈が灯ったりと、大変立派な物である事を再認識したのですが、駐車場が今の状態では、観光客が行く気にならないと思います。現在の（計画で）駐車場は、山の手通りにある普通車8台、大型1台の他、博物館の端に軽自動車でないと思えられないような所が整備してあります。将来的には久松小学校の敷地でもという事を、ちょっと囑望しているのですが、博物館から美術部門が移転する話も出ているようですし、どこかに駐車場を整備する計画は出来ないのでしょうか？

(芦澤会長)

駐車場問題ですか。

(村山委員)

つくづく感じました。良い物があっても、わざわざ鳥取駅から歩いて行きません。花見の頃は雑踏になりますし、駐車場問題の将来展望を含めて、教えていただけないでしょうか。

(芦澤会長)

どうですか？

〈事務局〉

城跡の駐車場問題については、以前より観光課と協力しながら検討していますが、なかなか適地が見つかっていません。時間貸しの駐車場を観光用にする事も検討したのですが、個人の用地のため難しい。また、大型バスが置けないという事をよく言われたので、いろいろと探したのですが、やはり確保は難しく、観光バスについては、現在はお堀端で降ろしていただき、鳥取駅南口の駐車場に確保したバスの駐車場で待機していただくという対策をとっています。

それと従来、観光地は目的地型で、そこに行ったら、また車で次の目的地に行くという事でしたが、現在、鳥取市では、中心市街地を回遊していただくという事で、そのキーとしての片原駐車場に置いていただき、そこからお堀端や、その他、関連の場所や山の手通り等、いろんな所を回っていただくという事を進めています。

(村山委員)

それとトイレが必要。観光の場合、駐車場とトイレが必須です。

〈事務局〉

回遊していただく仕組み作りも、それに合わせてやっていくよう考えています。

(芦澤会長)

将来的には、この近辺でやらないといけません。以前から言っていますが、鳥取市として、是非とも旧金田邸を買って欲しい。あそこを駐車場にすれば、30台、40台は置けます。旧金田市長さんのおうちを買っていただくと、このお堀端のちょうど真ん前ですから、あれが鳥取市の拠点となり得ます。だから是非とも検討して欲しいです。

もう一つは県の施設がありますが、あれも県と折衝して、何とか市の方に譲ってもらったり、県の財産でも良いから駐車場にするなり、施設を有効利用していくという事を県の方と考えていただきたいと思います。

それからもう一つ、どうも今の状態では、博物館から美術部門が移転するというような事で、博物館だけになれば、イベントが集中する機会も減ると思います。博物館前の通りも電線の地中化をしていただくという事だから、あの辺もましになるだろうと思います。どうも前の公設球場は鳥取市の財産がほとんどなくなっているようですが、もし鳥取市の財産があれば、あの奥でも駐車場に出来ると思います。もとは全部鳥取市の財産でしたが、今ではほとんどが県のものであり、鳥取市の財産として残っているのはスタンドの跡ぐらいのようです。だから、将来的には、そういう事を考えていってはどうか。

それともう一つは、先ほど部長さんがおっしゃった、街の中に車を停めて、そこからいろいろ見ていただいて行くという方法、これは非常に大事な視点です。皆さんに申し上げたように、この度竹田城に行ってきましたが、前回行った3、4年前とゴロツと変わっていました。以前はすれ違えない様な山道を通り、城の下まで車で走っていたのですが、人がたくさん来るようになったため、(麓の)土産店等が造成されていた広い土地に駐車場があり、そこから城までバスで行きました。また、街の中にあるJRの駅の方に車を停めておいて、城に行くというような方法もあります。鳥取城跡についても、一概に付近に集中して駐車場を整備しようという考え方でなくても良いと思います。今の問題という事ではなく、そういう事を将来に向かって計画していけば、非常に良いんじゃないかなと感じました。

その他、何かありますか？

(谷口委員)

予算的に難しいのかもしれませんが、私としては雪の事が気になる所です。どこでもそうですが、除雪をした時に歩道が雪で埋まってしまうという問題があります。この計画では、自転車道が半分あるので、自転車道の所に穴掘って格子状にしておけば、ある程度雪も溶けて落ちやすいと思います。また、上からフェンスを張ると、滑って危ないので、何か格子状のアスファルトで、1cmごとぐらいに穴が空いているような物が良いと思います。

あと、大手橋はコンクリート製の橋に比べると、見た目は景観上すごく良いと思いますが、傾斜があると、雪の時に歩行者が滑らないか心配です。雪が落ちるような工夫をした方が良いと思います。これは木とかで作るんですかね？木で作ると滑りそうだと思います。

〈事務局〉

木製とは聞いておりますが、(大手橋の整備については)今日の議題ではないですから、雪の場合どうなるのかという気にされていたという事を所管の方に伝えるようにします。

(谷口委員)

鳥取の最近の道路では、下り坂の下で曲がっているとか、あまり雪の事を考えて作っていないような道が増えてきた気がします。

(芦澤会長)

除雪を行う路線ですか？

〈事務局〉

除雪路線になっており、優先的にする予定です。

(芦澤会長)

もう一つ、電源のボックスがありますが、何かオブジェみたいな格好にするとか、単なる色だけでなく、目立たないようにする方法について、皆さんで知恵を出していただきたいと思います。低く地中に埋める事は出来ませんか？

〈事務局〉

出来ないようです。

(谷口委員)

昔あったような、櫓みたいにしたら良いのではないのでしょうか。

(成清委員)

住宅側に寄せる事は出来ないのですか？

〈事務局〉

基本計画の時に、住宅側に小学校や県の用地といった官地がある所については、住宅側に寄せようかと考えていたのですが、他の地下埋設物との関係で敷設が大変という事もあり、やむなく、通常の車道側に設置する計画としております。

(松島委員)

鳥取市のイメージにあうような物を上手にのせたりしておいたら、違和感がないと思います。境港の水木ロードのような感じで、鳥取市の何か、象徴するような物でも良いと思います。

(芦澤会長)

お城の整備をハードの面でやるのだが、鳥取の場合、石垣や仁風閣といったハードの面だけでは、観光的に人が来る可能性が少ないと思います。やはり、ストーリーが要る、ストーリーが。この城のストーリーや面白い歴史等、話題性があって、皆さんに、歴史が分かっていたら事になれば、だいぶ違ってくると思います。竹田城も石垣ですが、なぜ観光客が来るかといったら、石の積み方が姫路城と

一緒であったり、雲海が目玉であったりします。日本の3大雲海の城と言ったら、竹田城と高梁市にある松山城、それから福井ですが、石垣しかないのは竹田城だけです。それでも、人がたくさん来ます。整備とは別の、後々の話ですが、竹田城の雲海のように、鳥取城跡も何かそういうものがないといけないと思います。

(中橋副会長)

歩道にこれだけの幅員がありますし、点字ブロックが必要ではないでしょうか。擬石のブロックで凹凸のついた物は売られているし、景観になじんだ点字ブロックはあります。

〈事務局〉

はい。点字ブロックにつきましても、協議は進めています。最終段階には至っていませんが、基本的には、今ある横断歩道の付近であるとか、仁風閣の方に誘導するような格好で、配置する予定です。大手橋への誘導については、橋自体がバリアフリーに考慮した勾配となっているかどうかを含め、今検討を行っている所です。

(中橋副会長)

それぞれの先進事例として、入れるようにしてはどうでしょうか。

(芦澤会長)

それはしなければいけない。

それともう一つ、以前から申し上げているが、道路というより広場という感覚で整備しましょう。城前の広場であるというイメージで、そこを車もちょっと通してくださいという感覚で整備した方がベターであるという事を言ってきましたが、その中で、防災の面という事があります。そういう視点が含まれていませんが、多分ここは良い避難場所になると思います。ここと公園の広場も含めた全体の防災のスペース、広場としての考え方を少しは持って欲しいと思います。

(中橋副会長)

会長からご指摘があった事ですが、ランドスケープの世界では、リスクランドスケープというのが重要視されており、風景の中に減災とか、そういう物があります。公道車道空間の場合、リスクランドスケープは何かと言えば、避難者を安全に安心して誘導するサインがさりげなくあると、例えば、避難場への誘導サインです。サインを整備する場合は、全体の空間のサイン計画というのがあり、そしてここをどうするかという事で、全体説明、部分説明、誘導、案内、そういうヒエラルキー（ピラミッド形に上下に序列化された位階制の秩序や組織）があるような手法がございます。これだけの空間を整備されますから、防災リスクに関して、先ほどの福祉の安全、人間の安心安全という視点からのサイン計画、ランドスケーププランニング、デザインにはなってくるかと思えます。

機能面は良く検討されていますが、今一番ランドスケープで大切な事は安全安心です。リスクランドスケープの視点から、もう少し検討していただくようお願いします。

(芦澤会長)

鳥取市の中心市街地近辺、この近辺で広い空間というのは駅前広場やこういう

所ぐらいで数が少ない。昔は中心市街地の中にお寺等が二十何か所もあり、鳥取大火や大震災の時には、お寺や学校が避難地になっていました。だから、そういう、いざという時の避難地であるとか、そういう事を、少し頭に入れ、検討してください。

いざという時のため、井戸を掘って欲しいと思います。

(中橋副会長)

阪神淡路大震災を受け、神戸では街区公園に皆、井戸を掘るか、地面の下に貯水槽を入れるよう設計されています。地下空間を利用するというのは、神戸、大阪では常套手段です。だから見えないランドスケープ、見えない設計をするんです。今、見える設計ばかりだが、安全とか安心は見えない方が良いでしょう。

(芦澤会長)

下水道のマンホールなんかで、さっと、そこで便が出来れば、水を流さなくて良いと思います。災害時には水洗便所が役に立ちません。いざとなったら、器具をもって、ちょっと困って出来る等、ちょっと考えてみてください。

(西村委員)

一点よろしいでしょうか？

(芦澤会長)

はい、どうぞ。

(西村委員)

イメージパースの修正案と基本設計を比較すると、歩道の色が2色に変わっていますが、この理由を教えてください。1枚のブロックで色が変わっている所がありますが、これはブロックを切って付けるのでしょうか？

〈事務局〉

イメージでは真っ直ぐ色分けをしています、実際は濃い色と薄い色のブロックを互い違いになるように設置します。

(中橋副会長)

3×6の擬石の平板が売っています。それを間で組み合わせるだけです。

(芦澤会長)

目地の美しさというのがあり、基本設計では縦側だったんだけど、横にしようという意見がありました。

それと、最後の参考の所のアスファルト舗装にした場合というのがありますが、黒だけでなく、色を変えられるのですよね？

〈事務局〉

これは現状の黒舗装にした場合の景観イメージはこうですよ、という事で作らせていただきました。

(芦澤会長)

これは色が良くないと思います。

〈事務局〉

こういう事も加味してカラー舗装で決めましたというのが、今の提案です。

(芦澤会長)

それなら良いと思います。カラー舗装の材質は何ですか？

(中橋副会長)

ベニハナ色の脱色アスファルト系、アスファルト舗装ですよ？

〈事務局〉

土色の、はい。

(芦澤会長)

観光地に行くと、よく透水性の舗装がしてありますが、この舗装は透水性の物ではないでしょうか？

(中橋副会長)

粗粒式であれば透水しますが、密粒で仕上げたら表面勾配で水が流れていきます。このパスから見たら粗粒式かなあと思うんですけど、粗粒式ですよ？

〈事務局〉

透水性の物では考えていません。玉石の物は車道用でも、ボロボロするケースが多く、耐久性の高い密粒を考えています。

材質については、車道でも強くて長持ちするような物で、色も良いという物を探しておりまして、具体的には決まっていますが、土色の物を考えています。

(芦澤会長)

道路や歩道にもいろんな問題があります。そのまま長年あれば良いのですが、下水とかの工事で掘り返したりすると思います。

ヨーロッパの方では、道路の舗装にピンコロという小舗石を使っており、下水工事等の際、舗装を剥がして工事をし、また元に戻す事ができます。日本のようにアスファルトをめくって捨てるという事ではなく、ものすごく合理的です。ただし、ガタガタ道で歩きにくいし、ものすごく金がかかります。

〈事務局〉

基本的には、この度の整備で地下埋設物は歩道内になるべく集めたいと考えています。歩道の舗装は擬石平板ブロックという事で、たとえ壊れたり、入れ替えたりしても、それほど色は変わらないというメリットがあります。

(芦澤会長)

車道は難しいのではないのでしょうか？

〈事務局〉

車道については、事故防止のため、緊急で一瞬黒舗装をし、後から直すという格好になってくると思います。

(芦澤会長)

絆創膏が貼ってあるようになる可能性があると思います。

〈事務局〉

実は、鹿野城下町が街なみ環境で脱色舗装をやっているのですが、今、会長が言われたように、陥没等で応急措置された所は黒舗装になるため、経年変化で醜い事になってしまい、もう一度綺麗にして欲しいという要望が出ています。

景観も配慮しながら、長くしっかりした物にしたいと思っています。

(芦澤会長)

補修をするのに、不細工な四角でやるからいけない。ハート型にして補修するか、何かデザインをする等、そういう知恵を出せば、またそれも面白いだろうと思います。

(成清委員)

質問良いのでしょうか？イメージパースの2番で、現況写真にダイヤの道路サインが写っています。これは久松小学校に渡る横断歩道が先にあるからだと思います。下のパースには、この横断歩道と道路サインが入っていませんが、そのまま整備しないといけないと思います。これについては、景観に配慮した物にするように検討出来ないでしょうか？

(谷口委員)

色は法律で決まっており、白と黄色しか使えず、それぞれ意味が違うので、変えられないのではないのでしょうか。

〈事務局〉

基本的に色や標示は道路交通法で決められているため、道路管理者では自由になりません。

(成清委員)

横断歩道の場所を動かしたら、これもセットで動きますよね。そういった事もご検討いただければと思います。

〈事務局〉

それは検討できると思います。

(村山委員)

事業費は、予算的にどれくらいでしょうか？

〈事務局〉

全部で今、7億8千万円です。

(村山委員)

地中化の費用負担は？

〈事務局〉

4億円ぐらいです。

(村山委員)

折半でしょうか、それとも市の全負担でしょうか？

〈事務局〉

市の全負担です。

(芦澤会長)

なぜこんなに地中化が高いのでしょうか。

〈事務局〉

電線地中化につきましては、今までのやり方では、経費が高く、日本では普及していないため、安い方法について国が研究している所です。

ヨーロッパの地中化は安い方法でされており、かなり普及していますが、日本の地中化は、地下埋設物を共同溝で全部集めるタイプのため、経費が高いのです。

(芦澤会長)

地中化は景観だけの問題でなく、災害時の安全面が非常にある訳で、もうちょっと、簡単に安くできればと思います。

(中橋副会長)

最後に良いですか？

(芦澤会長)

はい。

(中橋副会長)

お堀端の桜が全部ソメイヨシノであれば、かなり寿命が来てるような雰囲気があります。桜景観を長期的視点で考え、今の桜を全部伐採し、ヤマザクラやヒガンザクラ等、久松山の自然植生にあった植栽にするよう考えなければいけないと思います。

もう一つは、擬宝珠橋の高欄の所と柵のデザイン的な収まりをどうするか、今後、詳細設計も進む事だし、指摘しておきます。この柵は再生木材でご検討の用ですが、鳥取県は林業県であり、間伐材でも良いので、なるべく本木を使っていたきたいという事です。橋は大部分が木造だと思うのですが、木の材質と柵の材質の統一感をどうデザイン的にやっていくか、色が変わってますが、手触り、肌触りが一緒のような物でなければ、ランドスケープ的にも収まりが難しい気がします。

あと、このベンチはセントラルパークでやっている思い出ベンチ、あなたのベンチを作りましょうと鳥取市民の方に聞き、鳥取城から全部、鳥取市内に思い出ベンチを普及させましょう。

(芦澤会長)

ベンチはね、いろいろなデザインにするよう、募集しても良いと思います。

(中橋副会長)

米子高専の学生が卒業設計で大山にあうようなデザインのベンチを設計をし、作っていました。ああいう風に、環境大学は建築学部がないので、鳥大さんの方でそういう学部がございましたら、ベンチを作ってもらい、学生の手作りのベンチをここに置くとか、それか、鳥取の森林組合さんに作ってもらう。そういう風にして、そこに鳥取の子ども達の手形のデザインを入れるとか、そういう風にしたら、市民の方も愛着を持ってくださると思います。私なら、ここに鳥取の子どもの、産まれた時の足形のタイルでも埋め込んでみようと思います。だから、ビジネスライクよりも、そういう鳥取市民の手形、足形が残るような整備方法を、こういう記念的事業ですから、なるべく市民がここに足跡を残して、これが鳥取の、おらがまちの名所だという、市民の方から声が上がるような空間整備、デザインを展開していただきたいです。

(芦澤会長)

ただ漠然と施工するのではなく、さきほど言われたような、小さい所のデザイン

も考えないといけないと思います。

それと桜の件のついて、久松小学校の近くの突き当たりの所に、ライオンズクラブが記念に植えたしだれ一本だけありますが、これはどうするのでしょうか？

〈事務局〉

調べましたら、ロータリーでした。道路課の方に寄贈を受けている物件でして、道路課とロータリークラブさんと協議をし、検討します。

(芦澤会長)

それでね、ソメイヨシノばかりじゃなしにという話もありますが、昔の図面でも、あそこは桜があったと前から言われていて、その当時の桜はソメイヨシノではないと思います。ただ、仁風閣の下の公園やお城山に植わっているのは皆ソメイヨシノであり、日本の桜 100 選の中には入っているので、全部を変えるというのは難しいと思います。

(中橋副会長)

長期計画を立て、不具合の所は部分的に代える、それでソメイヨシノを入れようという事はやめましょう。ソメイヨシノの命は 50 年、よくもって 70 年ですよ。だから、あと何年こいつは生きるのか、それを見極め、遠い将来を見て、ランドスケープの桜景観をどうするか、私はやはり郷土の植生、久松山に合わせるべきだと思います。

(芦澤会長)

なんでも単純にヨシノヨシノというけども、決してヨシノ桜が良いという訳ではありません。江戸時代に開発された種類で、派手であるため、皆が好んで植えたのだが、接ぎ木、今のクローンです。だから全国、桜の開花時期は、皆一緒であり、あれが基準になっています。

〈事務局〉

今の考えとしましては、先ほど会長さんが言われたように桜 100 選にも選ばれていますし、久松山の方にもソメイヨシノが植わっているので、お堀端だけ違う桜にしては、咲く時期も異なってくるので、ソメイヨシノで計画をしている所です。

ただ、今植えているソメイヨシノは切らず、ソメイヨシノと同じ時期に咲くヤマザクラ系の桜があれば、そういう物で補植するという事も考えていますが、おかしいでしょうか？

(中橋副会長)

確かに、お城の方でソメイヨシノが満開の時は綺麗ですが、これは一時の優です。それよりも、やはり地域に合った、命の長い、郷土種、植生景観が良いです。ソメイヨシノは確かに、とても綺麗です。そして、花を下に付け、自分の顔を向き、かわいいから、皆、そこで騙されています。

例えば、京都の桜の、佐野藤右衛門さん。人間国宝の藤右衛門は、ソメイヨシノを切れと言います。そして、そこのあるやつ探して、それ植えろ、昔から山にあるやつが一番良いのだというのが藤右衛門さんの持論です。今、確かに綺麗です。しかし、景観は、50 年、100 年、500 年、1000 年、言うでしょ？アラカシなんかは生

き延びるけど、ソメイヨシノは駄目。ヤマザクラになっても何年生きるかはわかりませんが、ソメイヨシノよりは長生きします。そして、桜の古木というのが全国ありますが、大概はヤマザクラです。そういうスタンスから、ここの現状を見て、長い目でどうするかという考え方を整理した方が良いと思います。

(芦澤会長)

そういう専門的な難しい話もあるとは思いますが、ただ、鳥取市民がそれを納得して理解できるかといえば、まだまだ早い。そこまで理解できないと思います。

それはアンケート等、もっと大々的に準備して、きちっと検討し、造園協会や環境大学の造園関係等、皆がそういう物をきちっとやって、それから変えてくって事をしなければいけない。まだまだ鳥取市民の緑に対する意識や感覚では、到底これは無理な話であり、批判が出ると思います。そういう物を徐々にやっていくって事であれば、頭に入れておいて欲しいと思います。

〈事務局〉

はい。

(中橋副会長)

どこかスペースありませんか？皆で、ヤマザクラやヒガンザクラ、ソメイヨシノを植えて、畑作り、桜をストックして、その場所場所に合ったやつを全体計画をつけて、植えてはどうでしょうか。植栽というのは、育てるという事が大切なんです。郷土に馴染む緑というのは、育て上げる事が大切なんです。そのプロセスに市民が参加して、愛着を持って緑を作る。そういう考え方をね、やらないといけない。切って貼っての世界では単なる建設事業です。そうではなくて、緑の魂を植える、そういう事なんです。

(芦澤会長)

はい、わかりました。そういった議論で変えていくというのは、また公園係とか専門がいろいろありますから、その辺とまた議論をやっていただきたい。

(池本委員)

緑の件で一つ良いですか？

(芦澤会長)

はい。

(池本委員)

本日会議があるため、お堀端行ってみた所、ツツジをバンバン剪定していました。こういったろくでもない事をされるって事自体が、私が以前から維持管理ってものを適切な時期に剪定しながら、きちっとした管理をして欲しいというのは、そこなんです。今ツツジを剪定してしまえば、来年春は全く花が咲きません。桜にしても、ある程度きちっとしたメンテナンスをしていって、初めて綺麗な花を咲かしてくれると思うんです。そういう事を含めて、全体の適切な維持管理をされていくって事を常に要望しておきたいと思います。

(芦澤会長)

維持管理というのは難しく、ソメイヨシノは下手に手入れしたら、枯れてしまい

ます。日本の街路樹は変な時期に剪定して変な剪定しているため、外国人が来たら、病気にかかっていると皆が言います。だから、もっとそういうレベルを上げないといけない。これは行政サイドの問題、責任ではなく、業界の責任です。

という事でいろんな意見が出ましたが、この辺で終わらせてもらって良いでしょうか？では今日はこれで終わります。どうもありがとうございました。

(一同)

ありがとうございました。